

# クアンタムシリーズに待望の ビルドインモデルが 登場!

## SENAクアンタムシリーズとは?

セナのフラッグシップに、新たに与えられた「クアンタム」というブランド。「メッシュ2.0」という最新のグループ通話機能に加えて、ハーマン・カードンが手がけたサウンド&ボイス、そして3年保証が付くなど、フラッグシップに相応しいバリューを備えている



**3年  
保証**

安心の3年保証



ハーマンカードン社による  
高音質イコライザー&マイク

セナ・インターコムラインナップで  
最高峰に位置づけられる「クアンタム」シリーズ  
そんな最高峰のインターコムとプレミアムヘルメット「SHOEI」が  
コラボレーションした“ヘルメット専用インターコム”「SRL-MESH」  
ヘルメットと一体化するメッシュ・インターコムモデルだ

写真/ 瀧本智信 文/ 八百山ゆーすけ  
問: セナBluetoothージャパン <https://senablueooth.jp>

性能は50シリーズ同様!

9月下旬~  
10月上旬  
リリース予定!



## SRL-MESH

価格: 4万8840円

サイズ: 82×39×33mm (メインユニット)  
通話距離: 約2.0km (Bluetooth)  
約2.0km (Mesh)

## SHOEI×SENAの 共同開発モデル!

SRLシリーズはヘルメットメーカー SHOEIとSENAが共同で開発を行った。左に挙げたSHOEIの3モデルは、SRLシリーズの取り付けを前提にした設計となっている

J-Cruise II NEOTEC II GT-Air II

最高峰モデルに相応しい  
スムーズ&スマートな装着

ボタンひと押しでグループにスムーズに参加でき、快適な通話ができるセナ独自のグループ通話システム「セナ・メッシュ2.0」。このメッシュ通話に加えて、世界的なオーディオブランド「ハーマン・カードン」の手によって、ハード・ソフト両面でチューニングが施された、セナ・インターコムのフラッグシップが「クアンタム」シリーズだ。すでに「50S」「50R」「50C」という3モデルをラインナップしているが、今秋、さらにSHOEIのヘルメットにビルドインできる「SRLメッシュ」が加わる。

SRLメッシュはプレミアムヘルメットとして知られるSHOEIと共同で開発され、同社の「GTエアII」をはじめ3モデルのヘルメットの専用インターコムだ。各ヘルメットにはSRLメッシュを装着するスペースと機構が設けられており、そこにSRLメッシュの各パーツを差し込むように取り付けるだけ。ヘルメットの外側にインターコム本体が出っ張るようなことがないのももちろん、帽体内側のマイクやスピーカーも、まるでヘルメットの内装の一部である

## 本体ユニット

バッテリーやシステムを収めたBluetoothユニットは、インナーシェルの後頭部にある後部スロットに取り付ける。充電に使うUSBコネクタもあるが、スマートに装着できる

## ボタン

ヘルメット左右にある三角形のカバーと交換する形で取り付ける「ボタンモジュール」。左側に「+」「-」「センター」の各ボタン、右側のモジュールに「Mesh」ボタンがある



ボタンモジュールは左右のカバーを取り外し、モジュールを下側からスライドするように差し込む

## アンテナ

Mesh通信に欠かせない薄型の通信アンテナは左右2つある。ボタンモジュールの内側、帽体とインナーシェルの間にアンテナを差し込む



## マイク

フルフェイス型のGT-Air IIはチングードの中央に丸いくぼみがあるので、そこにマイクを取り付ける。J-Cruise IIとNEOTEC IIは左側のインナーシェルにある溝にブームマイクを固定する



[ BACK ]

GT-Air IIにSRL-MESHを取り付けた状態。左右の三角形のプレートにボタンがある以外、ヘルメットの外観にはまったく影響がない



## 取り付けは“専用設計”なので簡単&ジャストフィット!

SHOEIの「GT-Air II」「NEOTEC II」「J-Cruise II」のインナーシェルには、マイクやスピーカー、ケーブルをはめ込む溝や窪みがモールドしてある。そのためSRLの取り付けは、各部にパーツやケーブルをバチンと押し込むだけで、綺麗に取り付けることができる

## スピーカー



左右の頬パッドを外すと現れるベースプレートには、スピーカー用の丸い窪みとケーブル用の溝が設けられている。そこにスピーカーとケーブルを装着する

装着感  
まったくナシ!



[ FRONT ]



[ LEFT ]

[ RIGHT ]

SHOEIの対応ヘルメットとSRLメッシュの組み合わせは、その佇まい、そしてサウンドともまさにスムーズ&スマート。それは、セナ・インターコムのフラッグシップであるクアンタム・シリーズのコンセプトそのものだといえる。同シリーズでは今後さらにSHOEIのコンパクト&軽量フルフェイス「Z-8」専用モデルもリリースが予定されており、ユーザーの期待は膨らむところだ。

かのような装着状態が最大のメリットだと言える。

もちろん、SRLメッシュはセナの最高峰レンジであるクアンタム・シリーズのインターコムとして、「セナ・メッシュ2.0」で、快適なグループ通話ができる。最初のメンバー間の接続がスムーズなだけでなく、一度グループと接続が切れても通信圏内になれば自動で接続が復帰。なによりメッシュII網目状の通信経路により、安定した通話を実現している。

また、ハーマン・カードンの技術者の手によるサウンドチューニングも魅力のひとつ。ヘルメットの内装に溝や窪みが設けられていて、マイクやスピーカーを最適な位置に取り付けられるため、ハーマン・カードンのマイク&スピーカーの性能をフルに生かすことができるわけだ。